

平成27年第5回高山市議会定例会 一 般 質 問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
12月8日(火)	1. 沼津光夫 議員	高山市政クラブ	1
	2. 榎 隆司 議員	高山市政クラブ	2
	3. 今井武男 議員	高山市政クラブ	3
	4. 伊東寿充 議員	創政クラブ	4
	5. 谷村昭次 議員	創政クラブ	5
	6. 西田 稔 議員	創政クラブ	6
12月9日(水)	1. 車戸明良 議員	創政クラブ	7
	2. 水門義昭 議員	創政クラブ	8
	3. 藤江久子 議員	創政クラブ	9
	4. 山腰恵一 議員	高山市議会公明党	10
	5. 中箴博之 議員	高山市議会公明党	11
	6. 谷澤政司 議員	無 会 派	12
12月10日(木)	1. 松山篤夫 議員	無 会 派	13
	2. 上嶋希代子 議員	日本共産党高山市議団	15
	3. 牛丸尋幸 議員	日本共産党高山市議団	16

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【沼津光夫議員】

1. 位置指定道路について

- ①位置指定道路の現状と除雪体制はどのようになっているのか
- ②位置指定道路延長は39キロメートルと聞いているが、10年前の延長は何キロメートルくらいなのか
- ③位置指定道路の市道認定をどのように考えているのか
- ④位置指定道路の今後の除雪対応をどうするのか

2. 除雪対策について

- ①市の除雪予算（当初）は約5億円である。昨年度は、豪雪のため特別交付金や国土交通省の補助金の対象となったが、今年度の見通しは
- ②倒木被害が予想されるが、9月議会で補正されたライフライン保全対策事業の進捗状況はどうか
- ③市民意見交換会において旧市内の除雪・排雪に対する要望が多く出されている。高齢化により自力での除雪が困難な方への対応をどう考えているのか
- ④今後の流雪・消雪の計画は

【榎 隆 司 議員】

1. まちづくり協議会について

- ①まちづくり協議会をどう位置づけているのか
- ②まちづくり協議会の今後の展開は

2. 道路、施設等の維持管理について

- ①道路、施設等をどのように点検し対応しているのか（ME（メンテナンスエキスパート）の活動内容も含めて）

3. 原山合併記念公園について

- ①公園内の施設が有効に活用されていないのでは。指定管理の契約内容は
- ②展望台を設置してはどうか
- ③県下初のパークゴルフコースを設置してはどうか
- ④冬期間の有効利用を

4. 地域振興に向けた新たな施策展開について

- ①地域の活性化に向けて地域通貨を導入したらどうか
- ②健康維持のため健康ポイントを導入したらどうか

【今 井 武 男 議 員】

1. TPP大筋合意について

- ①高山市への影響をどう考えているのか
- ②米、牛肉、乳製品など重要品目についての影響をどう考えているのか
- ③高冷地野菜トマト、ホウレンソウへの影響をどう考えているのか

2. 飛騨食肉センターにおける飛騨牛輸出の現状と課題について

- ①飛騨牛の輸出環境整備の現状はどのようになっているか
- ②飛騨牛の海外戦略の考え方は
- ③飛騨牛生産をとりまく環境をどう分析しているのか
- ④飛騨牛増頭に向けた施設整備の考えは

3. 農業委員会法の改正について

- ①農業委員会の業務内容はどう変わったのか
- ②農業委員の選出方法の変更についてどう捉えているのか
- ③新たに選出することとなった農地利用最適化推進委員の業務内容は。またその選出方法は

4. 第1回飛騨の美味しいお米食味コンクールについて

- ①コンクールの内容は
- ②コンクールの成果をどう捉え、今後どう生かしていくのか

【伊 東 寿 充 議員】

1. 高山祭の維持・継承について

- ①高山市における高山祭の位置づけは
- ②「高山祭の屋臺行事」の維持・継承に対する現状理解は
- ③ユネスコ無形文化遺産登録に向け、多角的な視点で支援策を拡充すべきでは

2. 域学連携について

- ①域学連携（大学と地域との連携）への取り組み状況と効果は
- ②各種団体や産業別等、幅広い分野との連携の創出を

3. 中部山岳国立公園乗鞍岳の環境保全と活用について

- ①入山者数の減少傾向をどう分析しているのか
- ②環境保全と観光振興を担保した妥当な最大入山者数の設定はなされているのか
- ③環境保全を前提とした段階的な規制緩和による利用推進策に早期着手すべきでは
- ④環境教育の場、郷土愛を育む場として活用するための十分な取り組みがなされているのか

【谷 村 昭 次 議員】

1. 生涯現役世代の活躍の場の創出について

- ①高年齢者（65歳以上）の雇用状況と就業機会拡大についての考えは
- ②高山市非常勤職員の継続就業期間（5年）を見直す考えは

2. まちづくりを多様な主体が協働で考えるルールづくり（高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例）について

- ①課題解決（まちづくり）においては、互いの存在意義・意思を認識（歩み寄り）することが不可欠である。他県他市では、条例等において問題解決に向けて多様な主体が協働で考えるルールを定めているところもある。市として「紛争調整制度」（条例規則等）を設ける考えは

3. おもてなしの心や安心が伝わる観光地づくりについて

- ①おもてなしの心として、公衆トイレを増設する考えは（市街地東地区と山岳観光地）
- ②安心して山岳観光を楽しめるよう、火山シェルターの整備や既存山小屋の強度補強等を行うべきでは

4. 地域資源を活用した森林エネルギーの管理について

- ①森林資源の調査や管理方法の現状と今後は

5. 高い品質米の安定生産に向けた温暖化対策について

- ①食味値・味度値の高い品質米の安定生産においては、気候資源が大きな関わりを持つ。温暖化への「適応計画」についての考えは

6. 豊かな心と健やかな体を育む「小学校体育」について

- ①スポーツ庁設置を契機として、学校体育と子どもの体力向上が改めて注目されている。市における「小学校体育」の取り組みと今後の考えは
- ②小学校体育には教科書がないと言われる。運動経験があまりない小学校教諭に対する指導の現状と今後は

【西 田 稔 議員】

1. 職員の健康管理について

- ①生活習慣病の疑いがある職員に対してどのような指導がなされているのか
- ②ウォーキングやラジオ体操を推奨するなど市職員に対する健康づくりの取り組みはなされているのか
- ③心の病で休職中の職員数は。また復職に向けた対応は

2. 学校図書司書の適正配置について

- ①江名子小学校が兼務校になっている。その理由は
- ②兼務校の多くが支所地域にある。地域間格差ととられかねない。どう考えているのか
- ③全小中学校に専任の学校図書司書を配置すべきである。どう考えるのか

3. 特定非営利活動法人さんしょうの会の要望書について

- ①全国的に学童保育を希望する障がい児等が急増している。市の現状は
- ②支所地域では対応できるところが十分ではない。どう考えているのか
- ③さんしょうの会では今年の夏休み23日間、障がい児と不登校児の学童保育を行ったが、申込みが多く対応しきれず断った。どう考えているのか

【車 戸 明 良 議員】

1. 魅力ある観光づくりの推進について

- ①今年の観光動向と今後の見通しは
- ②旧森邸整備のねらいと内容は
- ③宮川を中心として朝市や商店街を回遊できる歩行環境の整備（人道橋等）は
- ④本市の中核的な観光資源である古い町並み界隈のランドデザインは

2. 古い町並み界隈における車両進入制限について

- ①古い町並み界隈の車両進入制限の目指すところと考え方は
- ②今年度予定されている古い町並み界隈の車両進入制限の社会実験のねらいと内容は
- ③地元との協議の経緯と現在の状況は
- ④今後の取り組みの方向性は

3. T P Pによる地域経済の影響について

- ①T P Pの経緯と農業・商工観光業への影響は
- ②国は農政新時代と位置づけ、攻めの農業への転換（体質強化対策）を打ち出している。この機を活かし農業振興に取り組むべきでは
- ③T P Pによる地域経済の影響と今後の見通しは（地域の経済再生・地方創生に活路を見出せるのか）

【水 門 義 昭 議員】

1. 建設産業の振興に向けた中長期ビジョンについて

- ①経済環境が不透明な中、市は建設産業の現状と課題をどのように捉えているのか
- ②建設産業の生産額（工事高）規模と総事業者数は
- ③市の発注工事量はどのような推移となっているのか
- ④市の技術者も業者の技術者も不足すると予測されている。どのように対応するのか
- ⑤安定した工事量の発注に対して、どのような考えを持っているのか
- ⑥公共工事発注側として、建設産業の振興に向けた中長期ビジョンを策定すべきではないか
- ⑦建設産業の支援や育成に向け、例えば建設振興課等の専門部署が必要ではないか

2. 犯罪のないまちづくりについて

- ①平成27年に高山市で発生している犯罪件数と解決未解決の状況は
- ②防犯灯（町内会の外灯、通学路照明、街路灯）や、防犯カメラ・ビデオの設置状況は
- ③防犯灯の設置は町内会、教育委員会と基盤整備部での協議の上、総合的に整備すべきではないか
- ④市として防犯カメラや防犯ビデオを設置する考えは（町内会、商店街など民間への設置助成を含めて）
- ⑤犯罪のないまちづくりとして、道徳授業を家庭や地域にもっと広める方法はないか（道徳のまち条例の制定など）

【藤 江 久 子 議員】

1. 女性活躍推進法について

- ①市は努力義務である市町村推進計画をいつ作成し、策定義務である行動計画をどのように策定していくのか
- ②市の女性職員をはじめ、働く女性が置かれている労働環境や管理職の割合、また賃金状況を把握しているのか
- ③女性が活躍するための4つの壁については、どのように考えているのか。行動計画にどう反映するのか
- ④市が目指す「女性が活躍できる社会（行動計画のゴール）」とは

2. 市民協働のまちづくりについて

- ①協働のまちづくりはどういったまちづくりを目指し、何のために取り組んでいるのか。市長の考えは
- ②活動の拠点としての場所が確保されていないところが多いが、今後についての考え方は
- ③地域によってまちまちな組織のあり方に混乱は生じていないのか。市が考える将来展望は
- ④「現在のまち協の事業は、社教の焼き直しであって何をしているのかわからない。」という多くの市民の意見を、市はどう受け止めるのか
- ⑤協働のまちづくりにおける情報の提供や集金など町内会が果たす役割は大きいですが、町内会に入っていない世帯への対応について、市はどう考えているのか

3. 子ども達が健やかに育つ環境づくりと、自立に向けた支援について

- ①障がいを持った子、またはグレーゾーンといわれる「気になる子」への支援をどのように考えているのか
- ②子どもの貧困への対応は

【山 腰 恵 一 議員】

1. 通学路の安全対策について

- ①緊急総点検で安全対策が必要な箇所が公表されているが、その進捗状況は
- ②区域（ゾーン）を定めて30キロの速度制限をする「ゾーン30」整備の考えは
- ③学校周辺の通学路において、路側帯のカラー舗装化や注意喚起表示のカラー表示化が必要ではないか

2. 自転車の安全利用について

- ①道路交通法の改正に伴う自転車の安全利用について、市民や学校現場を含めどのように周知啓発したのか
- ②自転車の危険運転行為による事故の実態は
- ③更なる交通ルールの厳守やマナーの向上についてどう考えるか
- ④自転車保険の加入率の現状と加入率向上に向けた取り組みは
- ⑤自転車安全利用に関する条例制定の考えは

3. 健康管理と健康増進について

- ①胃がんリスク検診の導入についての考えは
- ②健康マイレージ（ヘルスポイント）事業の導入についての考えは

【中 箴 博 之 議員】

1. 地方創生の推進について

- ①地方創生の推進にあたっては、市民参加によるボトムアップの視点が必要では
- ②総合戦略の推進にあたっては、地方創生センターのような機関が必要では
- ③機関の中に高山版政労使会議などの機能を持たせることも考えられないか
- ④メディアも活かした戦略的広報に取り組むべきでは

2. 防災ラジオと緊急情報の伝達について

- ①防災ラジオの不感地域の把握はできているのか
- ②不感地域を解消するための対策は講じられているのか
- ③防災ラジオ普及にあたって、現行のリース方式見直しの議論は
- ④避難情報等は情報伝達手段の確保が難しい地域へどう伝えるのか

3. 文化財行政について

- ①伝建地区の保存・防災対策を加速するべきでは
- ②景観保全の監視体制を強化する考えは
- ③貴重な歴史資料の保管についての考えは
- ④史料のデジタルアーカイブ化を進めるべきでは
- ⑤学芸員のあり方を検討すべきでは

【谷 澤 政 司 議員】

1. 健康増進施設（温水プール）について

- ①民間において健康増進施設（温水プール）の建設計画が進められている。その内容は
- ②健康増進施設（温水プール）を望む市民の声は大きい。市として、当該施設の建設や運営に対して支援する考えは

2. 歴史上の人物・偉人を通じたまちづくりについて

- ①本市は歴史上の人物や偉人を数多く輩出している。子どもたちがこうした人たちの存在を知り、学ぶことは、高山市民として誇りや郷土を愛する心の醸成につながる。学校現場における取り組みの実態は
- ②歴史上の人物や偉人を地域資源として捉え、世界に向けた情報発信や着地型観光商品（歴史人物めぐりツアー）の造成など観光振興面からの取り組みを

3. 指定避難所である斐太高校及び近隣町内会の防災対策について

- ①斐太高校は指定避難所とされているが、ハザードマップにおいて「急傾斜崩壊のおそれ」があるとされている。急傾斜地崩壊対策の早期実施を
- ②斐太高校へのアクセス道路は、校舎の西側（合崎橋側）と南側（三福寺町側）の2か所である。市道千島松本線の合崎橋架け替えなど改良に伴い校舎西側からのアクセスは良くなったが、校舎南側のアクセス道路は狭隘であり、早急な取り組みを
- ③斐太高校の校舎やグラウンド等の雨水排水機能が十分でないため、近隣民家等が十年余り前から浸水等の被害を受けている。排水機能の向上について県への働きかけを

【松 山 篤 夫 議員】

1. 「古きよき日本」を巡るノスタルジック（郷愁）・ルートについて

- ①昇龍道プロジェクトの一つとして、様々な「古き良き日本」を巡るノスタルジック（郷愁）・ルートが策定された。金沢から白川郷を經由し高山へ入り、松本から妻籠宿・馬籠宿経由で名古屋にいたるルートである。当ルートを今後の観光戦略にどう位置付けていくのか
- ②「古き良き日本」を感じてもらえる観光資源として「街道」の有効活用を

2. 特例通訳案内士の育成について

- ①飛騨3市1村は、特例通訳案内士（特定の地域内でのみ有償ガイドができる通訳案内士）の育成ができるよう、構造改革特別区域計画の認定を受けた。特例通訳案内士をどう育成し、今後の観光戦略にどう生かしていくのか

3. 飛騨牛の販売戦略について

- ①EU市場における飛騨牛の販売促進は、全世界に飛騨牛ブランドを広めることにもつながる。EU市場における飛騨牛の販売促進策は
- ②JA飛騨ミートの食肉処理施設が北米に輸出できる施設として認定された。飛騨牛と飛騨産野菜をセットにした「すきやきセット」の販売により、北米市場の開拓を

4. 薬草栽培による休耕地の有効活用について

- ①漢方薬の需要の高まりや中国産原材料の高騰により、薬草の栽培が各地に広がり始めている。薬草の栽培は、全国どこでも可能と言われている。休耕地の活用策として薬草栽培を奨励してはどうか

5. 人口減少社会がもたらす影響について

- ①人口減少社会を迎え、将来に不安感を持つ市民も多い。人口減少がもたらす市民生活・経済活動・行政運営への具体的影響を市はどのように分析しているのか
- ②人口減少社会に対応し、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを進めるためには、まずもって、市民と行政とが人口問題（人口減少社会がもたらす影響等）についての認識を共有することが不可欠である。市として、どのような取り組みを進めるのか

【上 嶋 希 代 子 議員】

1. 平和について

- ①去る10月30日の平和サミットをどう総括しているのか
- ②平和サミット時に取られた市民アンケート等市民の声について、どう捉えているのか
- ③平和都市宣言は「非核」の文字を入れ、非核平和都市宣言に

2. 市民の声を大切にしたい市民納得の市政の運営について

- ①ビッグアリーナ周辺の駐車場対策は
- ②協働のまちづくりの課題解決に向けた対応は
- ③福祉灯油の実現を

3. どの子にも、行き届いた教育の実現について

- ①少人数学級の拡大を
- ②教師の多忙化の解消を

4. TPPについて

- ①国は大筋合意と発表したけど、本市の農業を守るには

【牛 丸 尋 幸 議員】

1. マイナンバー制度について

- ①通知カードの配達と問い合わせの状況は
- ②事業所の対応状況は
- ③高齢者など支援が必要な方への対応は

2. ひきこもりについて

- ①岐阜県若者サポートステーション及び高山市福祉サービス総合相談支援センターの現状は
- ②ひきこもりの実態把握と市の支援策の考えは

3. 子育て支援について

- ①小中学校の経済的負担の状況と市の支援策は
- ②高校の経済的負担の現状と市の支援策は
- ③育児休業制度の現状と、妊娠・出産で仕事を辞めざるを得ない方への支援策は

4. 市営住宅について

- ①特定公共賃貸住宅の家賃の軽減を
- ②除雪や雪下ろしの支援を